

○有機農業や耕畜連携の取組、新技術を活用した温室効果ガスの排出量削減の取組等の環境負荷低減事業活動の推進により、環境と調和した農林水産業の実現を目指す。

【作成主体】 佐賀県及び県内全20市町

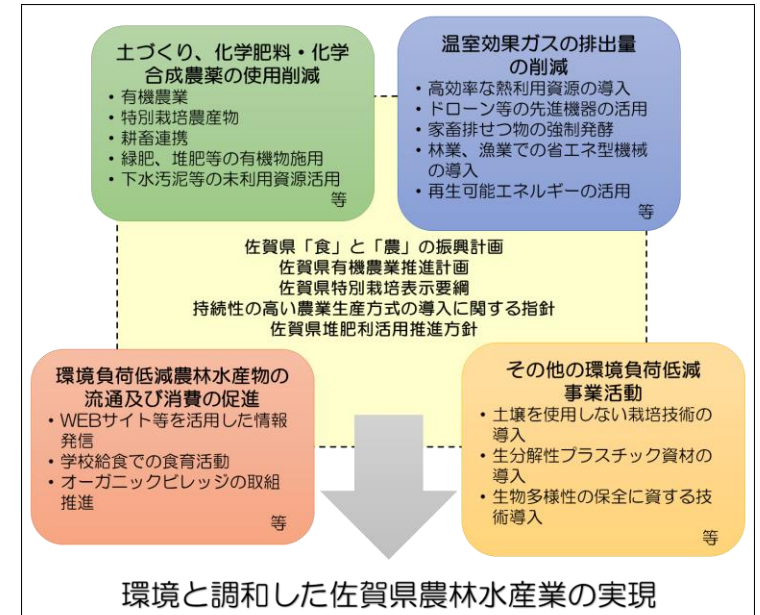
佐賀県、佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

【計画の主な目標】

- 環境保全型農業直接支払交付金の取組面積：600ha（R8）
- 有機農業の取組面積：230ha（R8）
- 良質堆肥の流通量：60,000 t（R8）
- 稲わら・麦わらの有効利用率：91.3%（R8）

【取組のポイント】

- 耕畜連携等による土づくりと化学肥料・化学合成農薬の使用削減の取組や有機農業の取組を推進
- ドローンなどの先進機器の活用や廃熱・廃CO₂の回収利用等による温室効果ガス排出削減の取組を推進
- WEBを活用した情報発信やオーガニックビレッジの推進等、環境負荷低減事業活動により生産された農林水産物の消費拡大を図る



堆肥の施用



ドローンによる農薬散布